

3年 社会 シラバス

1 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 教科における重点目標等

- (1) 社会を自ら考えようとする態度を養う。
調べ学習や課題解決学習などを通して社会の諸問題に着目し自ら考える態度を養います。
- (2) 他者と協働して社会的な見方・考え方を養う。
話し合い活動や討論の中で、社会的事情を様々な角度から考察し公正に判断するとともに、課題に対して根拠を持って発言できる場面を設定し適切に表現できる力を養います。
- (3) 社会についての理解を深める。
授業を通して、地理・歴史・現代社会についての知識を広げ、理解を深めます。

3 学力を向上させる方法

- (1) 日常の「なぜ？」を感じよう
日々の生活の中で、「なぜこうなったのだろう？」と感ずることを大切にして下さい。様々な事象に対し疑問に思ふ姿勢が、より良い学習につながります。
- (2) メモをとろう
感じた「なぜ？」をメモしておきましょう。また、先生の話や他の人の意見をメモすることも良いですね。様々な見方から社会を見つめましょう。
- (3) 言葉の意味を知ろう
社会科は用語が多いです。ひとつひとつの言葉の意味をしっかりと押さえましょう。目に見えないものを表す言葉を自分で説明できるかどうかポイントです。
- (4) 新聞・ニュースに触れよう
世の中の最新情報に目を向ける姿勢をもちましょう。社会への関心を高めて授業に臨むと、より理解が深まります。生活に役立つ情報がニュースの中で出てくるかもしれません。

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	社会的な事象に関して、理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。	・授業中の発言・ワークシートの記述内容 ・資料分析の内容 ・提出物 ・定期テスト
思考・判断・表現	社会的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・授業中の発言 ・ワークシートの記述内容 ・提出物 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	社会的な事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・授業中の発言 ・課題への取組 ・ワークシートの記述内容 ・提出物 ・定期テスト

5 家庭学習の仕方

社会科では、残念ながら「覚えること」を避けては通る訳にはいきません。丸暗記するのではなく、出来事や人物の行ったこと等がどのような背景でどのような影響を与えたのかを理解することが大切です。そのヒントは授業での先生の話の中にあります。授業で学んだことを、自分の言葉で説明できるとよいですね。また、本やテレビ、新聞に触れるのも大切です。様々な情報源から情報を集めることも、より深く学ぶことにつながることでしょう。

6 年間学習予定（週4時間 年間140時間）★歴史的分野と公民的分野が中心

	単元名	学習のポイント
1 学期	<p>歴二度の世界大戦と日本</p> <p>1 第一次世界大戦と日本</p> <p>2 世界恐慌と日本の中国侵略</p> <p>3 第二次世界大戦と日本</p> <p>歴現代の日本と世界</p> <p>1 戦後日本の発展と国際社会</p> <p>2 新たな時代の日本と世界</p> <p>公現代社会と私たちの生活</p> <p>1 現代社会の特色と私たち</p> <p>2 私たちの生活と文化</p> <p>3 現代社会の見方や考え方</p>	<p><近代②（大正時代～昭和時代前期）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が世界や日本に与えた影響について理解する。 ・世界恐慌のあと、日本の対外政策がどのように変化したかを理解する。 ・第二次世界大戦が世界や日本に与えた影響について理解する。 <p><現代（昭和時代後期～平成時代…今）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・占領政策の意義と、戦後世界の国際関係の変化について理解する。 ・戦後復興と日本の経済成長について理解し、現代の諸問題を考える。 <p><u>※歴史的分野の学習は以上で終了となります。</u></p> <p><現代社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化、情報化、少子高齢化について事例とともに理解する。 ・日本国内の文化と社会生活への影響について考える。 ・物事の決定の仕方やきまりの意義について事例を用いて理解する。
2 学期	<p>公個人の尊重と日本国憲法</p> <p>1 人権と日本国憲法</p> <p>2 人権と共生社会</p> <p>3 これからの人権保障</p> <p>公現代の民主政治と社会</p> <p>1 現代の民主政治</p> <p>2 国の政治の仕組み</p> <p>3 地方自治と私たち</p> <p>公わたしたちの暮らしと経済</p> <p>1 消費生活と経済</p> <p>2 生産と労働</p> <p>3 市場経済の仕組みと金融</p> <p>4 財政と国民の福祉</p> <p>5 これからの経済と社会</p>	<p><憲法・人権></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の原理について理解し、人権保障の意義について考える。 ・日本国憲法に定められている様々な基本的人権について理解する。 ・社会の変化にともなって生じた人権上の新しい課題について関心を持つ。 <p><政治></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政党の役割や選挙制度、政治参加について理解し、政治の役割を考える。 ・国会・内閣・裁判所の地位や役割、三権分立のしくみについて理解する。 ・地方公共団体の政治の仕組みについて理解し、地域の政治的課題を考える。 <p><経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしと経済の関係に気付き、その背景にある流通の役割について理解する。 ・企業の役割やしくみ、雇用と労働について理解する。 ・価格の決めり方や、金融の役割について理解する。 ・経済に関する政府の役割を理解し、日本の経済的課題を考える。
3 学期	<p>公地球社会とわたしたち</p> <p>1 国際社会の仕組み</p> <p>2 様々な国際問題</p> <p>3 これからの地域社会と日本</p> <p>公より良い社会を目指して</p>	<p><国際社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際機構が果たしている役割や核問題について理解する。 ・国際社会の諸課題の解決のため日本が果たすべき役割について考える。 <p><課題探究学習・中学校のまとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の形成のため解決すべき課題について考えてまとめる。 <p><u>※中学校の社会科の全分野が終了となります。</u></p>